

令和5年度 先進都市視察 報告書

大阪府南部市議会議長会

報告市議会	泉佐野市	市議会
報告者	議長 新田 輝彦	副議長 事務局長 池田 秀明
視察日時	令和5年7月5日(水) 13:30~15:30	
視察先	茨城県取手市	
概要	<p>議会DXについて、委員会のオンライン開催について</p> <p>取手市議会は、早稲田大学マニフェスト研究所が毎年行っている議会活動に関する調査「議会改革度調査2021」において、2年連続で議会改革度全国1位にランクインされています。</p> <p>オンライン委員会の開催、オンライン意見交換会、360度カメラでのライブ配信、さらに官・民・学連携協定で、議会のさらなるICT化による新しい民主主義の手法構築に向けたチャレンジなど、様々な取り組みをされています。</p>	
所見	<p>議会DXについて、委員会のオンライン開催について</p> <p>本市議会におきましても、重大な感染症のまん延防止の観点から又は大規模な災害等の発生により、委員会の開会場所への参集が困難である場合、また、公務、疾病、育児、看護、介護、出産、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由により、委員会の開会場所への参集が困難な委員から求めがある場合、委員長の判断・許可によりオンライン委員会の開催ができるよう、令和4年9月定例会において、委員会条例の一部改正を行ったところです。</p> <p>取手市議会ではタブレット端末を用いた電子採決システム等も導入されており、今後、本市議会においてもさらなるICT化について研究・検討してまいります。</p>	

令和5年度 先進都市視察 報告書

大阪府南部市議会議長会

報告市議会	泉佐野市 市議会
報告者	議長 新田 輝彦 副議長 事務局長 池田 秀明
視察日時	令和5年7月6日(木) 9:45~11:15、13:30~14:30
視察先	茨城県守谷市、そなエリア東京
概要	<p>グリーンインフラ×スマートシティ自然共生型スマートシティモデル事業について、そなエリア東京守谷市は、2017年11月に民間コンサルタントとグリーンインフラの活用に向けた官民包括連携協定を締結され、グリーンインフラを活用することで地域に多様な価値を生み、世代を超えて豊かな自然がつながる持続可能な都市を目指した取り組みを進められています。 実証実験から得られた成果と課題、現在の取り組み等についてご教示いただきました。</p> <p>そなエリア東京（防災体験学習施設）では、地震の発生から避難までをタブレットも活用し、クイズに答えながら進む「東京直下72h TOUR」を体験させていただき、地震発生後の72時間を生き抜くヒントや日頃の備えについて学びました。</p>
所見	<p>グリーンインフラ×スマートシティ自然共生型スマートシティモデル事業について、そなエリア東京</p> <p>グリーンインフラ×スマートシティ自然共生型スマートシティモデル事業として、市民投稿型生き物調査を実施され、市民の皆さんと協働でのデータ収集・分布データの蓄積、マップの作製等は非常に有効であったこと。また、樹木見守り調査隊として実施した市民参加型グリーンインフラマップ作製については、市民によるモニタリングが可能という結果の一方で、課題として、樹木の健康度合いを市民の皆さんに判定してもらい、健康と診断したものが仮にその後倒木し、何らかの被害が出た場合の責任の所在について等があり難しいといった課題など実証実験で得られた経験談を伺え、今後の本市での市民参加・協働型施策の参考としてまいります。</p> <p>そなエリア東京での防災に関する備え等の学びを参考とし、今後さらに防災担当課をはじめとした関係各課、関係機関との連携に努めるとともに、現在検討中の議会BCP作成を図ってまいります。</p>